**日　時**令和６年８月６日（火）午前１０時００分から１１時３０分

**場　所**須賀川市役所 ４階大会議室A

**出席者**委員１０名、地域包括支援センター４名、事務局９名

**１　開会**

**２　会長あいさつ**

**３　議事**

**（１）介護保険事業等の実績について**

**（２）介護保険事業等の今年度の取り組みについて**

**（３）介護給付費準備基金の状況について**

＜質疑応答＞

委　員　指標（目標）は、いつまでの目標なのか。

事務局　令和８年までの目標である。

委　員　地域包括支援センターの担当エリア及び設置数の見直しはいつ頃実施予定か。

事務局　要介護・要支援認定率や地域性も考えながら進めていくが、事業計画は３年のため、

３年以内にできればよいと考えている。

委　員　地域包括支援センターですでに雇用されている人員を削減するのは難しいので、事前

に十分に協議しながら進めてほしい。

委　員　令和５年度事業実績について、成果状況が維持及び向上のみであるが、どういう基準

で判断しているのか。

事務局　目標及び実績の指標が誤差の範囲内であれば維持。目標を大きく上回っていれば向上

としている。

委　員　目標と実績がどちらも100%のものは、なぜ維持ではなく向上なのか。

事務局　100%という最高の状態であるため、向上とした。

委　員　認知症サポーター等養成事業の事業費が9千円となっているが、何の費用なのか。

事務局　通信費である。

委　員　訪問介護のヘルパー不足で、事業所は大変苦労している。リアルタイムで、ヘルパー

の空き状況をネット等で配信してほしい。

事務局　予算の関係もあり即答はできないが、各事業所等と連携を図りながらシステム構築

をし、配信できればよいと思う。課題として取り上げ今後状況を確認していきたい。

委　員：認知症サポーター養成に力を入れているようだが、養成講座が一部の学校に偏ってし

まっている現状がある。助け合いの心を養成していくためにも、広域的な実施を検討

していただきたい。権利擁護についてニーズが高まっており、住民の要望が増えている。専門職の配置を強く要望したい。

事務局　認知症サポーター養成を小学校２校で講座を実施しているが、今後拡大に努めていき

たい。専門職の配置について人事課へ要望しているが、今後も粘り強く要望していき

たい。

**（４）地域密着型サービス事業所の状況について**

**（５）地域包括支援センター活動報告と今年度の取り組みについて**

**（６）その他**

**４　閉会**

　　　　　　　　　　　　　　以　上